



平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ジェイグループホールディングス

コード番号 3063 URL <http://www.igroup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新田 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 赤工 朝飛

TEL 052-243-0026

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	4,788	3.5	41	△23.4	29	△74.9	4	△93.9
24年2月期第2四半期	4,625	△2.2	54	161.8	116	544.3	72	—

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 2百万円 (△97.0%) 24年2月期第2四半期 73百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	139.83	131.17
24年2月期第2四半期	2,362.29	2,187.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第2四半期	6,533	1,608	24.6	49,718.43
24年2月期	6,437	1,570	24.4	50,799.00

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 1,606百万円 24年2月期 1,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,007	5.2	262	19.4	197	△26.1	82	△33.1	2,553.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期2Q	33,354 株	24年2月期	31,914 株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	1,000 株	24年2月期	1,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期2Q	31,877 株	24年2月期2Q	30,694 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要等もあって緩やかに景気回復の兆しが見られるものの、円高の長期化や電力の安定供給への懸念、欧州債務危機の再燃による海外景気の下振れ懸念など、先行きは不透明感が増しており、依然として厳しい状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、堅調に回復傾向で推移してまいりましたが、7月度は天候不順の影響やロンドンオリンピックの開催によるディナー時間帯の外食控え等が見られました。また、消費増税法案等の国内政治の動向もあって、消費者の生活防衛意識が依然として強い状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、収益力を向上させるための取り組み「J-Value（ジェイバリュー）」として、①営業企画部のサポートによる店舗管理の徹底、②ゼネラルマネージャー制度の充実、③仕入業務の効率化の3点に引き続き注力いたしました。また、既存店につきましては、7月度は前述のロンドンオリンピック等の影響を受けましたが、累計売上高は堅調に推移いたしました。出退店におきましては、ブライダル事業において平成24年7月に開設した「LUCENT Mariage Tower（ルーセントマリアージュタワー）」を含め3店舗を新規出店、1店舗を閉店し、平成24年8月末日現在の業態数及び店舗数は、47業態87店舗（国内86店舗、海外1店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,788百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は41百万円（同23.4%減）、経常利益は29百万円（同74.9%減）となりました。四半期純利益は、前期に計上した特別利益の影響がなくなり、4百万円（同93.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 飲食事業

ゼネラルマネージャー制度の導入以降、FLコスト（売上原価及び人件費）の改善、収益力の向上に成果が得られてまいりましたので、同制度の充実、改善を図りました。また、仕入業務の効率化に取り組みました。

新規出店におきましては、平成24年3月に、タパスやパスタ、ピッツァなど充実の料理に豊富なお酒が楽しめるダイニングバーで、広々とした空間に大型スクリーンを完備し、パーティーや二次会、オリンピックなどのスポーツ観戦を意識した新業態「REGOLITH（レゴリス）」（名古屋市西区）、豊富なワインと出来立て熱々の鉄板料理を仲間と共にわいわい囲む集いの酒場、カジュアルな店内で気軽にご来店いただける新業態「Gappo（ガッポ）」（東京都港区）の2店舗を新規出店いたしました。また、同年3月、契約期間満了に伴い「うな匠（ウナショウ）セントレア」（愛知県常滑市）を閉店いたしました。

その結果、飲食事業における売上高は4,377百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は26百万円（同43.5%減）となりました。

② ブライダル事業

平成24年7月に新バンケット「LUCENT Mariage Tower」を開設いたしました。その結果、ブライダル事業における売上高は173百万円（前年同期比57.7%増）、施設オープンの際のイニシャルコストや営業費用等の発生により、営業損失は24百万円（前年同期は営業損失9百万円）となりました。

③ 不動産事業

テナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS刈谷」などの賃貸収入等により、不動産事業における売上高は133百万円（前年同期比32.0%増）、営業利益は15百万円（同119.2%増）となりました。

④ その他の事業

広告代理業及び卸売業等のその他の事業における売上高は344百万円（前年同期比28.6%増）、営業利益は17百万円（同127.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は6,533百万円（前連結会計年度末比95百万円増加）となり、負債は4,924百万円（同57百万円増加）、純資産は1,608百万円（同38百万円増加）となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が301百万円（前連結会計年度末比121百万円減少）、売掛金が340百万円（同82百万円増加）となり、前連結会計年度末に比べ総額で15百万円減少し945百万円となりました。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ110百万円増加し5,588百万円となりました。これは、有形固定資産が、新規出店等の設備投資による増加やリース資産の買取り等によって252百万円増加し、リース資産の買取り等に伴い差入保証金が157百万円減少したことなどが主な要因であります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ79百万円減少し2,039百万円となりました。これは、買掛金が98百万円、短期借入金が25百万円それぞれ減少したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ136百万円増加し2,885百万円となりました。これは、長期借入金が144百万円増加したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、新株予約権の権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ18百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ38百万円増加し1,608百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが47百万円の資金減（前年同期は352百万円の資金増）、投資活動によるキャッシュ・フローが336百万円の資金減（前年同期は3百万円の資金増）、財務活動によるキャッシュ・フローが303百万円の資金増（前年同期は313百万円の資金減）となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は241百万円となり、前連結会計年度末の322百万円に比べ80百万円減少しております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は47百万円（前年同期は352百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を28百万円、非資金項目である減価償却費を259百万円計上したのに対し、売上債権の増加額が82百万円、仕入債務の減少額が99百万円、利息の支払額が29百万円、法人税等の支払額が50百万円あったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は336百万円（前年同期は3百万円の獲得）となりました。これは主に、新規出店やリース資産の買取り等に伴う有形固定資産の取得による支出が520百万円、リース資産の買取り等に伴う差入保証金の回収による収入が209百万円あったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は303百万円（前年同期は313百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入れによる収入が785百万円あり、長期借入金の返済による支出が476百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、7月度に天候不順の影響やロンドンオリンピックの開催によるディナー時間帯の外出控え等があったものの、通期累計では堅調に推移いたしました。また、国産米高騰等の原価上昇傾向や、ブライダル事業における新パンケットのオープン等、コスト増加要因もございましたが、FL（売上原価及び人件費）コスト適正化への取り組みや新パンケットの稼働に伴い、通期では概ね計画どおりの推移を見込んでおり、平成24年4月10日に公表いたしました通期の業績予想につきまして、現時点での修正はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項は、ありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	423,150	301,450
売掛金	257,785	340,035
有価証券	343	343
商品及び製品	250	566
原材料及び貯蔵品	60,249	62,745
その他	236,054	258,327
貸倒引当金	△17,412	△18,238
流動資産合計	960,420	945,231
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,593,196	2,828,734
土地	1,131,324	1,131,324
その他（純額）	236,447	253,514
有形固定資産合計	3,960,969	4,213,573
無形固定資産		
投資その他の資産	31,486	38,594
投資有価証券	12,149	11,597
差入保証金	1,269,486	1,112,075
その他	203,129	212,222
投資その他の資産合計	1,484,765	1,335,894
固定資産合計	5,477,220	5,588,062
資産合計	6,437,641	6,533,293

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	358,418	259,443
短期借入金	137,499	112,217
1年内返済予定の長期借入金	683,606	847,402
未払法人税等	65,449	47,760
賞与引当金	30,000	22,116
その他	843,492	750,517
流動負債合計	2,118,466	2,039,456
固定負債		
長期借入金	2,442,505	2,586,957
資産除去債務	51,721	52,504
その他	254,547	245,785
固定負債合計	2,748,775	2,885,247
負債合計	4,867,241	4,924,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,531	766,531
資本剰余金	678,531	696,531
利益剰余金	215,429	219,886
自己株式	△76,000	△76,000
株主資本合計	1,566,492	1,606,949
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,907	1,640
その他の包括利益累計額合計	3,907	1,640
純資産合計	1,570,400	1,608,590
負債純資産合計	6,437,641	6,533,293

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
売上高	4,625,869	4,788,382
売上原価	1,372,144	1,430,690
売上総利益	3,253,725	3,357,692
販売費及び一般管理費	3,199,135	3,315,859
営業利益	54,590	41,833
営業外収益		
受取利息	150	415
協賛金収入	77,549	10,049
設備賃貸料	6,816	2,267
為替差益	—	3,398
その他	19,207	9,410
営業外収益合計	103,722	25,541
営業外費用		
支払利息	31,145	28,817
その他	11,109	9,384
営業外費用合計	42,255	38,202
経常利益	116,057	29,172
特別利益		
固定資産売却益	102,499	579
貸倒引当金戻入額	275	—
特別利益合計	102,775	579
特別損失		
貸倒引当金繰入額	3,468	915
固定資産売却損	66	—
店舗閉鎖損失	33,629	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26,345	—
特別損失合計	63,509	915
税金等調整前四半期純利益	155,323	28,836
法人税等	82,814	24,379
少数株主損益調整前四半期純利益	72,508	4,457
四半期純利益	72,508	4,457

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	72,508	4,457
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	735	△2,267
その他の包括利益合計	735	△2,267
四半期包括利益	73,243	2,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,243	2,189

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	155,323	28,836
減価償却費	233,286	259,172
のれん償却額	505	491
賞与引当金の増減額(△は減少)	58,665	△7,883
受取利息及び受取配当金	△150	△415
支払利息	31,145	28,817
有形固定資産売却益	△102,499	△579
有形固定資産売却損	66	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26,345	—
売上債権の増減額(△は増加)	△17,983	△82,228
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,393	△2,793
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,392	△99,029
その他	30,868	△92,840
小計	395,786	31,547
利息及び配当金の受取額	150	415
利息の支払額	△30,753	△29,137
法人税等の支払額	△12,785	△50,739
営業活動によるキャッシュ・フロー	352,397	△47,914
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△56,579	△520,595
有形固定資産の売却による収入	110,121	3,200
無形固定資産の取得による支出	△339	△1,423
差入保証金の回収による収入	24,105	209,797
差入保証金の差入による支出	△59,231	△54,048
その他	△14,982	26,162
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,093	△336,907
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△28,004	△25,282
長期借入れによる収入	200,000	785,000
長期借入金の返済による支出	△567,023	△476,744
リース債務の返済による支出	△11,521	△15,026
株式の発行による収入	93,542	36,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△313,006	303,947
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39	53
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	42,445	△80,821
現金及び現金同等物の期首残高	119,754	322,346
現金及び現金同等物の四半期末残高	162,200	241,525

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,301,541	110,230	87,917	4,499,689	126,180	4,625,869	—	4,625,869
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	30,480	—	12,945	43,425	141,557	184,983	△184,983	—
計	4,332,021	110,230	100,862	4,543,115	267,737	4,810,852	△184,983	4,625,869
セグメント利益又は損失(△)	46,840	△9,152	7,279	44,967	7,610	52,578	2,012	54,590

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2,012千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,377,099	173,248	90,796	4,641,144	147,237	4,788,382	—	4,788,382
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	333	560	42,312	43,206	197,102	240,309	△240,309	—
計	4,377,432	173,809	133,109	4,684,351	344,340	5,028,691	△240,309	4,788,382
セグメント利益又は損失(△)	26,459	△24,133	15,959	18,285	17,336	35,621	6,211	41,833

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額6,211千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。